

花の里づくりの会

第3号会報2007年4月1日発行



西方寺は鎌倉の極楽寺より五百年ほど前(明応4年)に移建されました。その本堂はどんなものであったか分かりませんが、恐らく元禄の大地震で壊れたのかも知れません。現在の本堂は、平成9年に山門・鐘楼と共に横浜市の文化財に指定され今回の解体修理により、今から284年前の享保6年に建てられた事が明らかになり、その創建当初の姿に復元されました。全部解体し、地盤を叩き直し、礎石も据え直し柱も根継ぎし、大引きや梁の一部、その他取り替えた材料もかなり有りますが、使える材料は極力使い、創建以後替えられたり付け加えたりした部分は元に戻して、特に屋根は創建当初の茅葺きに戻し、本来の重厚な美しさを取り戻す事が出来ました。

西方寺がこの地に移建された理由に「この地が明るくて阿弥陀様や観音様の霊地として天下に並び無い霊地である」と記され、西方寺境内の風光明媚を讃えています。建物を建てる場合、基礎から屋根に至るまで全体の調和を考慮し設計されるもので、元の茅葺きに替えた事により一層周囲の風景にマッチした気品のある本堂になりました。建物は先人の技術意匠を習い踏襲しても、どうしてもその時代の意欲というか精神が加味され、時代ごとに変化します。そして不思議なもので古いものほど新しく新鮮で美しいものです。西方寺の本堂は江戸時代中期に、当山第二十五世祐算法印により創建され、棟梁及びその時代のお檀家各位の掛け替えのない文化遺産で、それを維持できた事を感謝しています。また西方寺には平安時代(今から千年前)の本尊阿弥陀如来座像は県の文化財で、奈良の東大寺が出来た頃に手書きされたお経は国の文化財として残されており、

ごあいさつ

会員の皆様には、お変わりなくご活躍のことと拝察いたします。おかげ様にて会の運営又、植栽した花木・宿根草等も順調に生育しており、世話人の一人として喜んで居る所です。

本年は初めての催しとして、6月中旬に会員の皆様にお集まりいただき懇親会の開催を予定しております。後日御通知を差し上げますので、一人でも多くの御参加を、役員一同お待ちしております。

昨年第一回目の新羽小学校の卒業記念の植樹を行いました。卒業生に会報を一部づつ差し上げました所、保護者の方がポツポツ、丘陵公園の散策に来られるようになり、お話をする機会がありますが、大変喜んでいただいております。本年は3月5日にエゴの木を植栽しました。その時の様子は7頁をご覧ください。

又本年春には西方寺さんの本堂の工事が終わるとの事で、19年度は重点的に植栽に取りかかれると思っております。尚18年度に植栽した品物は植栽実績にまとめてあります。

これからも皆様のご理解あるご協力をいただき、一日も早く成長した花々を見ていただけるよう頑張っておりますので、よろしくお願い申し上げます。



花の里づくりの会 会長 中山 宏

平成 18 年度の植栽実績

◆光明寺◆

黄エビネラン 200 本

シャクナゲ 10 本

◆善教寺◆

ハクレン 一本

コブシ 一本

◆新羽丘陵公園◆

ニオイトサミズキ 10 本

ハクウンボク 10 本

エゴノキ 2 本

(新羽小学校卒業記念樹) 2 本

◆松山神社◆

高野槇 一本 (旣 仁親王殿下御誕生記念)

◆北松山神社◆

高野槇 一本 (旣 仁親王殿下御誕生記念)

平成 19 年度の植栽予定

◆善教寺◆

ハクウンボク

◆西方寺◆

ツバキ 他

◆新羽丘陵公園◆

新羽小学校卒業記念樹 3 本

新羽丘陵公園での卒業記念植樹



植樹り会

六の一 中山 亮介

ぼくは今日のち、も時間目に木をうめに行
きました。うち、ち、いたねかと思っただけです
ごく大きな苗でビックリしました。ぼくも
めたりできてよかったです。エゴノキという
木を2本うめました。そのエゴノキはふつう
ではよくピンリで、よくめがらしいです。
あと20年したら、友達と見に行きたいです。

卒業記念の木

六の一 木下 愛莉

去年初めて新羽小にきてもう卒業です。一
年は早いなと思いました。その記念に木をう
えることになりました。エゴの木です。
私達が成長すると同時に木もどんどん成長
していきます。それがなんか少しうれいです。
大人になって新羽小に友達と来たが、き、
と木がすごく大きく成長してると思っています。
私達も、ま、すぐ木のように育ちたいです。

平成 19 年 3 月 5 日



卒業記念樹の生長とともに

新羽小学校長 長尾 静子

昨年度に続き、今年度も子どもたちは、新羽丘陵公園に卒業記念の植樹を行う事が出来ました。地域の皆様のご尽力で、アカバナエゴノキを植えました。初夏に白い花をつけるエゴノキは、公園などでよくみかけるからと、珍しいアカバナを探してくださいました。どんな花をつけるか楽しみです。昨年ヤマボウシも、落葉しないトキワヤマボウシを選んでくださり、冬でも常緑を保ち、しっかりと根付いていました。毎年の記念樹は子どもたちのシンボルとなり、新羽丘陵公園が遊びの場から思い出の場、成長を確かめる場になっていくことでしょう。そして、卒業記念樹の生長とともに、新羽を支える一人一人として力強く成長されることを楽しみにしております。子どもたちに貴重な体験の機会を設けていただいた地域の皆様には、深く感謝申し上げます。

新羽小学校PTA会長 岸 芳雄

「横浜みどりアップ計画」を知っていますか。緑化保存のための取り組みで、「横浜の緑を守る」募金運動も展開されているそうです。植樹祭も今年で第二回目を迎え地域の皆様にご協力をいただき実施できることを大変、うれしく思います。森林がもたらすその恵みのおかげで、豊かな水も土も酸素も手にすることが出来るのです。私達の命を守るための一本となるエゴノキが、この地に根づき、子供達とともに、大きく成長しりっぱになることを、願っております。





光明寺

エビネラン 960 本



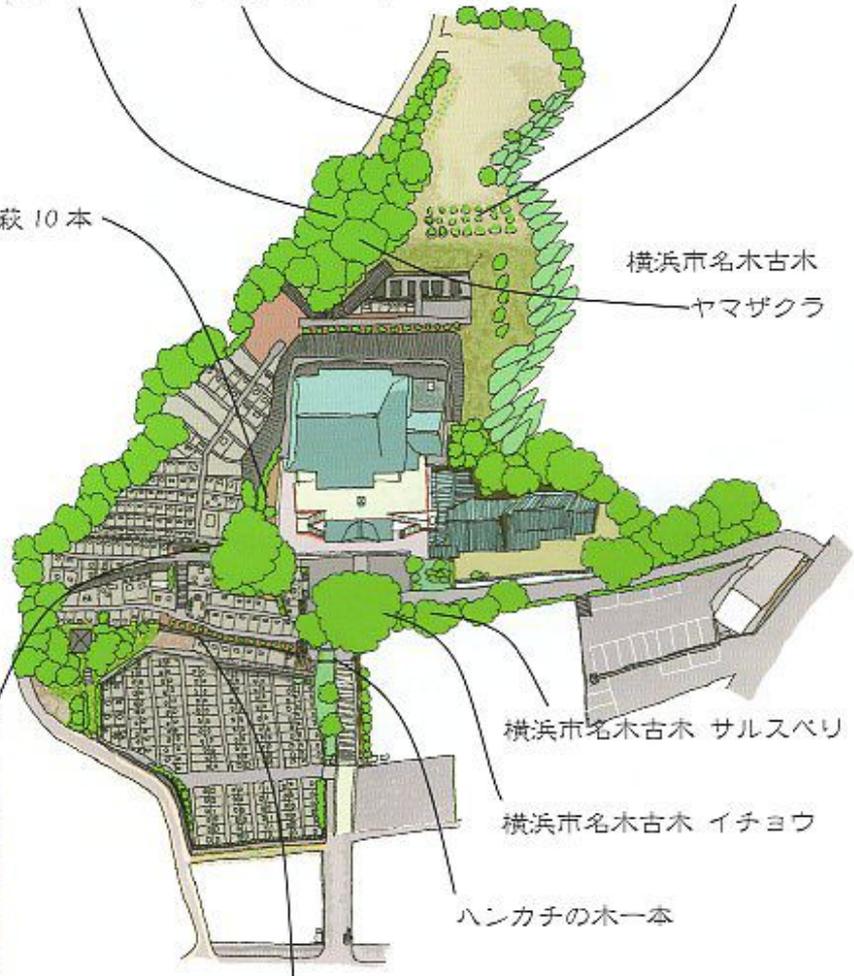
シャクナゲ 60 本



シャクナゲ 11 本



菖 10 本



ヒマラヤ桜 一本



酔芙蓉 40 本

善教寺



ハンカチの木 一本

ヒマラヤ桜 一本

けむりの木 30本

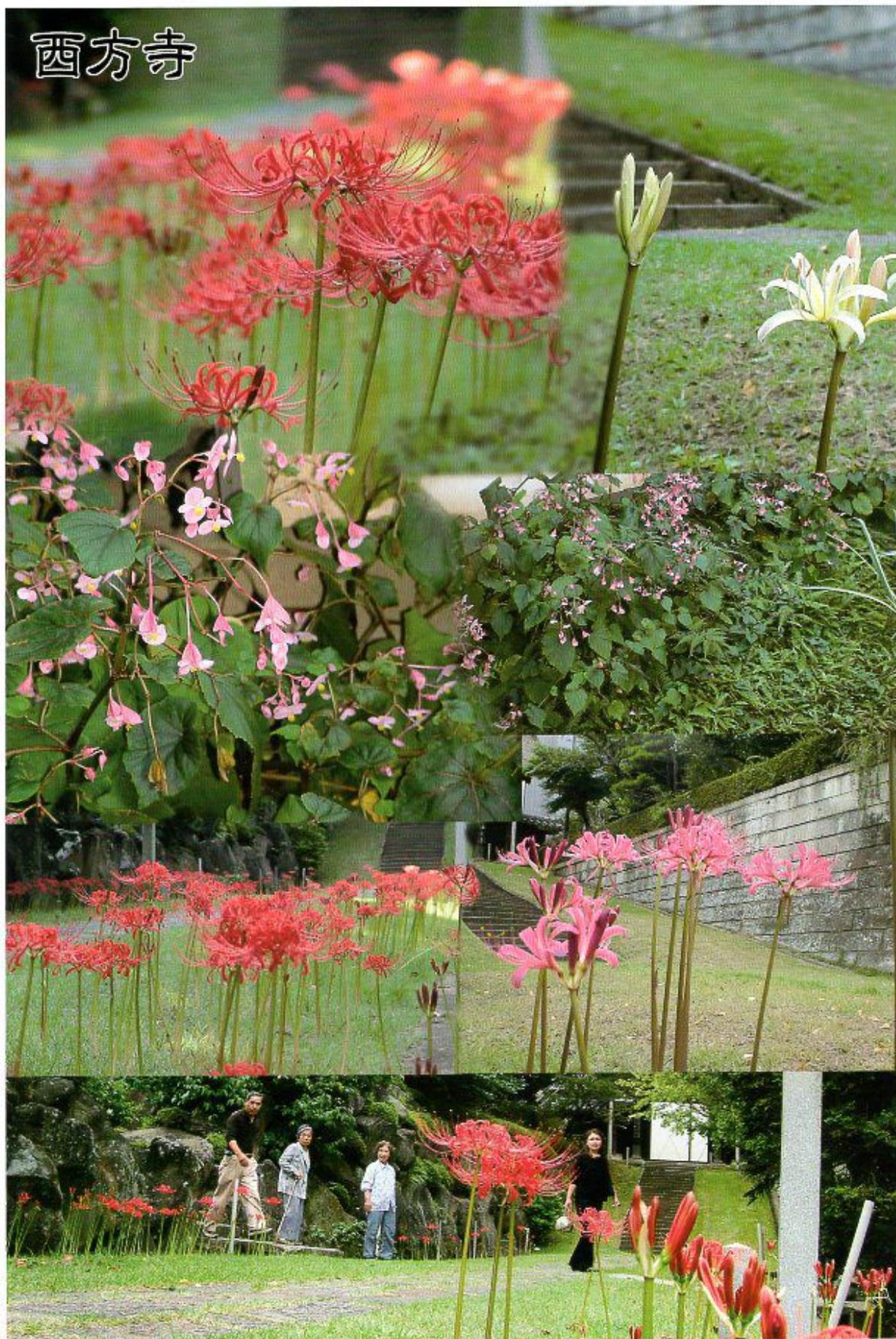


けむりの木 25本

シラン 白, 口紅, 斑入り 300本 秋海棠 赤白 50本



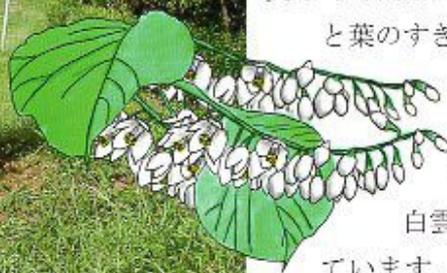
西方寺





ハクウンボク

エゴノキ科の木で、北海道・本州・四国・九州、朝鮮・中国に分布する落葉性の小高木です。このエゴノキの仲間には、花が美しいものが多いのですが、本種は中でも群を抜いて美しくて気品があります。大きな葉と葉のすき間を、大量の白い花



が埋め尽くし、雲がたなびく様に白い花をつける処から白雲木の名前が付けられています。花は五月のゴールデン

ウィーク頃に、枝先に長い花序を付け、エゴノキにそっくりの花を沢山咲かせます。花冠は5裂し、長さ18mm前後です。木の本体は、こけしや杓子等、ろくろ細工に使われ、将棋の駒の材料にもなります。種子からは油が採れ蠟燭が作られ、果実は9月頃に熟します。



ニオイトサミズキ

トサミズキの仲間、中国西南部からヒマラヤが原産地です。樹高は5メートル程になります。花は、まだ寒い三月下旬に咲きます。

ただ、日本原産であるトサミズキやヒュウガミズキ



と比べると花が大きくて、色も濃い黄色であり、一房の花の数が多くて豪華に見えます。香りがあるところからニオイトサミズキと呼ばれていますが、もとはシナミズキと呼ばれていました。

本会の趣旨に賛同して参加いただける会員と新たな候補地としての寺社仏閣を、募集しております。ご希望の方はお申し出下さればご説明させて戴きますので、会長宅までご連絡下さい。

花の里づくりの会 会報第三号 **2007**年**4**月発行

発行者 花の里づくりの会 会長 **中山 宏**

お問合せ先 045-541-5578 (事務局 中山宏 宅)